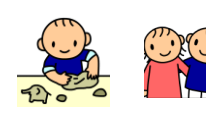
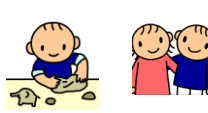
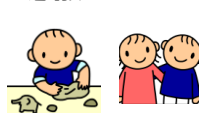


9月トリアだより



9月の活動



月	火	水	木	金	土
1 感触・ルール  スモック	2 運動 認知課題 	3 音楽・絵画  スモック	4 屋外・手指  帽子	5 感触・ルール  スモック	6 音楽 
8 運動 認知課題 	9 音楽・絵画  スモック	10 屋外・手指  帽子	11 感触・ルール  スモック	12 運動 認知課題 	13 休み
15 休み (敬老の日)	16 屋外・手指  帽子	17 感触・ルール  スモック	18 運動 認知課題 	19 音楽・絵画  スモック	20 療育発表会 
22 運動 認知課題  【避難訓練】	23 休み (秋分の日)	24 園外療育 (水族館)  帽子・お弁当・水筒	25 音楽 お楽しみ会 	26 ルール  【早降園日】	27 休み
29 屋外・手指  帽子	30 感触・ルール  スモック	【発表会について】 9月20日(土) は発表会の開催日となっております。 場所は カワックス交流センター となります。詳細、プログラム等につきましては、後日、コドモンにて配信させていただきます。			



※専門職の来所予定日

公認心理師（松本）：9/3日（水）、6日（土）、25日（木）

言語聴覚士（永山）：9/2日（火）、4日（木）、11日（木）、18日（木）、20日（土）、26日（金）

理学療法士（樋口）：9/12日（金）、16日（火）、24日（水）、29日（月）

作業療法士（大平）：9/5日（金）、13日（土）、17日（水）、30日（火）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ おしらせとおねがい ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



※当日のキャンセル連絡は、8時45分までに連絡をお願い致します。8時45分以降の連絡になりますと昼食代(330円)が発生します。

- ・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、ご連絡させていただきます。
- ・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までにご登園下さい。給食準備の為、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・9月24日(水)の園外療育の詳細につきましては、後日コドモンでお知らせいたしますので、ご確認ください。
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・お子様のことでお悩みや困り事等ありましたらご相談ください。必要に応じて交換ノートもご活用ください。一度お預かりし、返事を書かせて頂きます。
- ・トイレットレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、スポン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



こんにちは。今回は江戸時代から続く鹿児島島の郷土あそびの一つである「なんこ」を紹介したいと思います。ご存じない方も多いかと思いますが、「相手の手の中にある棒の本数をあてる」または「お互いの持っている棒の合計をあてる」といったシンプルなルールのあるあそびで、近年、各地で郷土のあそびやわかしあそびが見直されてきており、「なんこ」も県内の大会があったり、「国際親善ナンコ大会」が開かれたりしています。基本的なルールは以下の通りです。

- 道具: 木の棒(割りばしを半分の長さにしたもの)6本 こどもは手の大きさにあわせませす。
- 人数: 基本は2人
- あそび方:
 - 1)じゃんけんで先行・後攻を決める。
 - 2)お互いに背中に手をまわして、片手の中に棒を握って前に出す。この時「なんこ」と叫ぶ。
 - 3)じゃんけんに勝った方が、先に相手の本数(または両方の合計)を予想して言う。
 - 4)じゃんけんに負けた方が、相手の本数(または両方の合計)を予想して言う。
 - 5)お互いに手を開いて握っていた「なんこ」を見せる。
 - 6)合計本数を当てた人が1勝。先に3勝した方が勝ち。(両者とも外れたら、1から繰り返す)



なんこは、ルールはシンプルですが奥が深く、わざと一本だけを見せたり、何も握っていないのに握っているように見せたりと、心理的な駆け引きが楽しめるあそびです。棒を握る時に手のひらの触覚が働き、握る本数によって力加減を調整したり、相手にわからないように手の動きを工夫したりすることで、関節や筋肉からの情報をとらえる感覚(固有受容覚)も自然と働きます。また相手の手の動きや表情などをみること(視覚・観察力)、相手の声やナンコの音を聞くこと(聴覚)なども本数をあてる手掛かりになります。手の細かい動きを意識するにはきれいな姿勢を保つ必要があり、相手の動きや音に注意を向けることで自然と集中力は高まり、感覚は研ぎ澄まされていくでしょう。指先に意識を向け、たくさんの感覚を整理し、相手の心理を読む力、コミュニケーション能力、集中力、そして数への理解などさまざまな能力を育み、子どもからご高齢の方まで広く楽しめるあそびですので、ぜひ一度みなさんもあそんでみてください。



作業療法士
大平 優希

